

鋼橋技術研究会

海外橋梁技術研究部会

製作技術研究部会

昭和62年度報告書

昭和62年3月

まえがき

当分科会では昭和61年度にBS5400 Part 6 1980 の翻訳をまとめたが、今年度は続いて、AASHTOの勉強を行うこととした。

そのときすでに長大橋技術研究会の「米国道路橋示方書（訳）鋼橋上部工関連部分の抜粋」があったが、これは第12版（1977）で年代が古かったので、最新のものとして取り寄せたのがこの第13版（1983）であった。

比べてみると、リベットの規定が無くなっているほかは、内容的にはほとんど変わっていないようであったが、細かく見ると、若干異なっている部分もあり、体裁も章節が細かく区切られて見易くなっている。

ところで、我々が外国の示方書を調べるのは、次の2つの場合があると思われる。すなわち、

- 1) 日本の示方書と比較検討するなどを目的として、規定が大まかに理解できればよい場合。
- 2) 外国の工事を受注して、トラブルなく遂行するために細部にわたって字句を吟味する場合。

今回、前記の旧版訳を利用させていただきながら、上記1)、2)のいずれにも役立つように、なるべく単語を省略せず、できるだけ直訳的に努めた。しかし、一部、理解しにくい所も残ったので、念のため原文で確認できるように巻末に添付することとした。

海外橋梁技術研究部会・製作技術研究分科会

部会長 川口昌宏（日本大学 理工学部）

分科会長 正道博昭（櫻田機械工業 設計部）

委員 宇田川 清（川崎重工業 野田工場）

川村大進（住友重機工業 追浜工場）

福永 修（三井造船 鉄構土木事業本部千葉鉄構部）

牧村英雄（川鉄鉄構工業 千葉工場）

大黒俊明（栗本鐵工所 東京支社）

百瀬敏彦（宮地鉄工所 千葉工場）

杉崎 守（石川島播磨重工業 鉄構事業部）

塚本睦浩（日本鋼管 津鋼構造製造部）